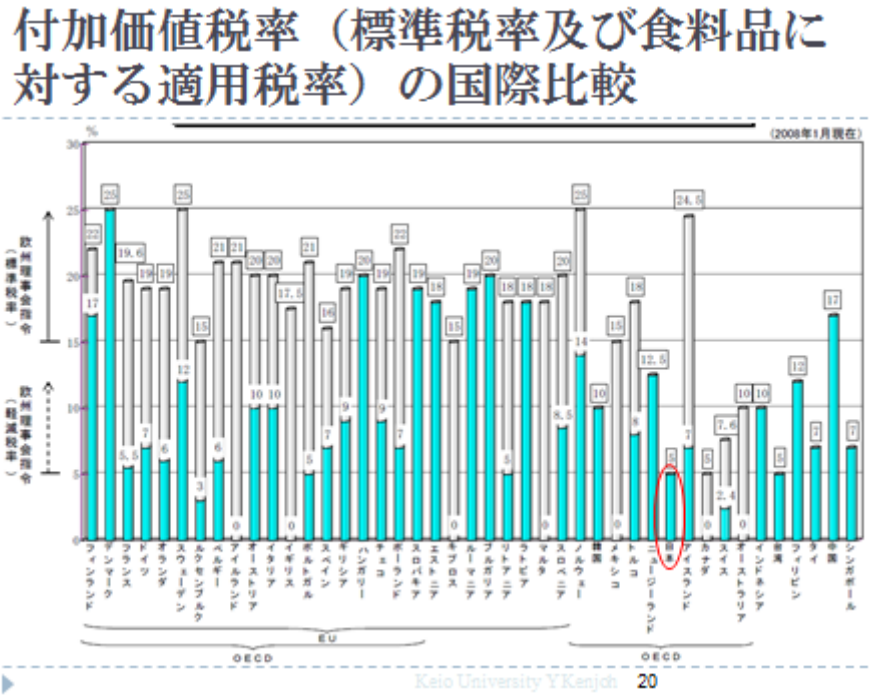
勿凝学問 329

介護関係者への消費税の説明は楽なのかもしれないと思った日
介護と付加価値税のモデルはともにデンマーク？

2010 年 9 月 20 日
慶應義塾大学　商学部
教授　権丈善一

そう言えば昨日、これからの社会保障政策を考えるフォーラムというところで話をした。僕の前の講演者である田中滋先生が話をされているときに、あっ、そうだ、ここは介護関係者なんだからと思って、田中先生には申し訳ないと思いつつパソコンを取り出して、僕の講演で使うスライドの中に、次の“付加価値税率の国際比較”を挿入した。



だってな———介護関係者は、デンマークの制度がすぐれていることをかなりの人が知っている。そのデンマークの付加価値税は 25%で、食料品に対する軽減税率はなく、25%の標準税率がそのまま適用されている。

介護関係者を対象とすれば、次の話がすんなりと受け入れられる———それを昨日発見した気がする。

勿凝学問 300　「要は、低所得・貧困を支出側面で判定するのか、給付側面で判定するのかの問題になるわけです」——消費税の食料品への軽減税率について